

国語科 学習指導案

日 時 6月21日 第5校時
 展開学級 2 年 2 組
 展開場所 体 育 館
 指 導 者 久 保 成 史

1 題材名 「徒然草」－兼好法師のものの見方や考え方をとらえよう－

2 題材観

教科書には、「徒然草」の序段と説話的な内容の五十二段「仁和寺にある法師」が取り上げられている。作者の考えが最後の一文に書かれているため、非常に読みやすく理解しやすい内容であり、古典の随筆に親しむのにふさわしい文章といえる。学習するにあたっては、まず、冒頭部分も含め、音読や本文の暗唱などにより、古典随筆の面白さ、とくに作者の考え方、人間観察の鋭さに興味を持たせたい。その上で、現代語訳文も使い、兼好法師がどのような視点で同時代の人々を眺めていたのかを考えさせたい。

「徒然草」は、鎌倉時代末期に知識人に流行した無常厭世観の影響を受けた作品である。作者である兼好法師（卜部兼好）は、この作品の各章において、自身の周囲に起きたことや仄聞した事件などを書き、それぞれの事件についての自身の見方を記し、時にはにおわせて締めくくっている。そこに表れる視点には、皮肉や嘲笑ばかりでなく、賞賛や顕彰、同情も含まれているように感じられる。ここでは、教科書以外で便覧に載っている章段の文章も読ませ、兼好法師が同時代の人々を、どのような視点や考えをもって眺めていたのかをとらえたい。とりわけ、兼好法師が身分の格差にとらわれず、賞賛や批判をしている視点を考えさせたい。以下を題材の目標とする。

- (1) 音読や本文の暗唱などにより、古典随筆を楽しむ。
- (2) 「徒然草」に表れた作者のものの見方や考え方に触れ、作者の思いを想像する。
- (3) 内容について感想を交流し、自身の考えを深める。

3 題材の評価規準

国語への意欲・態度・関心	読む能力	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
他の生徒に伝わるように適切な間の取り方や速度で読むことができるか。	「仁和寺にある法師」の重要な古語に気をつけながら内容を理解しているか。	兼好法師が各章段を書いたときの思いを理解しているか。

4 指導計画（5時間扱い）

学 習 内 容	時間	生 徒 の 学 習 活 動
<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景や兼好法師の生涯を理解する。 ・「徒然草」冒頭文、「仁和寺にある法師」に親しむ。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭文を書いた当時の兼好法師の気持ちを考える。 ・冒頭文の一斉読み、読み合いで古典のリズムに慣れる。 ・歴史的仮名遣いや古語の読み、重要古語をおさえる。
<ul style="list-style-type: none"> ・「仁和寺にある法師」の内容をとらえる。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・原文と現代語訳文を見比べさせ、内容をつかむ。 ・重要古語や、文章の構成を学ぶ。 ・「法師」の失敗の理由や、兼好法師が「法師」をどうとらえたのかを考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・「徒然草」から兼好法師のものの見方や考え方をとらえる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各章段を音読する。 ・他の章段の現代語訳文を読み、兼好法師がそこで何を言いたかったのかを考える。 ・兼好法師が人間を観察するときの見方を考える。

5 本時の指導（5／5時間目）

（1）目標

- ① 各章段を読み、作品に対する理解を深めようとする。【関心・意欲・態度】
- ② 自分と他の生徒の考えを比べることで自分の考えを深める。【C 読むこと エ】
- ③ 各章段を読み、それぞれの部分での作者のものの見方や考え方をとらえる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ】

（2）展開

過程と時配	学習内容と活動	教師の支援
導入 3分	○前時の確認をする。 ○本時の学習目標と内容を確認する。	○前時配布のワークシートを参考にしてよいことを伝える。
展開 42分	「徒然草」から兼好法師のものの見方や考え方をとらえよう。 ○ワークシート（第三回1）配布 ○本文を音読する。 ○ワークシート記入。（縮めの部分を考えてみる。） ○指名し、数名が答える。 ----- ○5枚のワークシート（第3、4時のもの含む。）から兼好法師が「肯定的にとらえたものと思われるもの」、「否定的にとらえたと思われるもの」をまとめシートに記入する。 ○兼好法師にとって「好ましい生き方」、否定的にとらえられた生き方をまとめシートに記入する。 ○班内で意見を交換し、代表者が集約した意見を紙に書き、所定の位置に貼る。	○良覚僧正の行動をたどり、怒りっぽいことを否定的にとらえていることを感じられるよう助言をする。 ○周囲と話しても良いことを伝える。 ○それぞれ理由なども言えるよううながす。 ○内容が理解できていない生徒には、縮めの部分に注目するよう伝える。 ○他の人の意見も聞き、書いておくよう助言する。 ○「肯定的にとらえた人」「否定的にとらえた人」は、どういう生き方をしているからそれぞれ判断されたのかに注意するよう伝える。 ○それぞれ2点以内ずつにしぼり、セリフのシートに書くよう伝える。
まとめ 5分	（ワークシートを回収する。） ○教師のまとめ。兼好法師の人生観について聞く。	

（3）評価

- ① ワークシートの意見を述べる部分を書こうとしている。【関心・意欲・態度】
- ② 話し合いに参加し、自身の意見を述べている。【C 読むこと エ】
- ③ まとめシートで、作者が見聞について好ましく思う、または思わない生き方やありかたと思われることをまとめている。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ】